



宝城中学校だより

令和6（2024）年11月15日

第15号

校長 小田 哲也

学校教育目標：「集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒の育成」

1. 人権フェスタが行われました。ご参加ご協力ありがとうございました。

今年の人権フェスタは、昨年度とは趣向を変えて、生徒の主体的な活躍の場をつかっていこうということで、生徒の皆さんから実行委員を立候補で募集しました。準備、本番での進行などの役割をしっかりと取り組んでくれました。ありがとうございました。

もちろん、それだけではなく各学年で今まで学習してきたことや取り組んできたことを、発表する場でもありますので、生徒の皆さん全員がこのフェスタをつくりあげる一員となり大変感動的でした。この年齢になると、涙腺がゆるくなって、最後の合唱部の合唱では目がウルウルとしてしまいました。感動をありがとう。

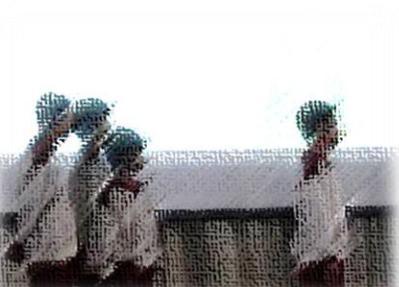


○2年生は各教室で、職場体験学習で学んだことを発表してくれました。小学生の皆さんや職場体験でお世話になった地域の事業所の皆さんも多数応援に来て下さっていました。ありがたいことですね。

○御原小学校の6年生太鼓の演奏は大変迫力がありましたね。御原小学校の先生にお話を伺うと、この太鼓の曲は御原小学校のためにプロの方が作曲して下さいったオリジナルの演奏曲だそうです。素晴らしい伝統が受け継がれていきますね。

○味坂小学校の5, 6年生の皆さんの発表はしっかりと声も出ていて、堂々としていて素晴らしい発表でしたね。そして合唱も変声期を迎える前の美しいソプラノの声が体育館に響いていましたね。

※小学生の皆さんの活躍も写真で紹介したいところですが、許可を取っていないので、私の感想だけ掲載しております。



○1年生は、大刀洗フィールドワークの事前学習で学んだ内容を寸劇で取り入れるなど、新しい挑戦をしてくれていました。もう少し準備する時間があればと思った人もいたかもしれませんが、戦争の恐ろしさや悲惨さが十分伝わってくる発表になっていましたよ。



○素晴らしい3年生の合唱を聞くことができるのは、卒業式を残すのみとなりました。卒業のその日まで、しっかりと取り組んで下さいね。



○合唱部の皆さん、文化発表会よりもさらによい合唱になっていました。感動しました。ありがとうございます。



○舞台の袖で、実行委員の皆さんが待機してくれていました。本当にお手伝いありがとうございました。

2. 教育条件整備の要請運動に係る署名活動の御礼と報告です。

9月から取り組んでいただいております、教育条件整備の要求運動に係る署名活動については、宝城中学校区で3200筆を越える署名が集まりました。PTAの皆様、地域の皆様のご協力に感謝しております。

去る11月11日(月)に小郡市人権教育啓発センターにおいて、小郡市副市長様及び小郡市教育委員会の教育長様をはじめとして教育部長様、関係各課の課長様、関係団体の皆様方のお集まりいただいている中、署名を持って陳情に伺ってまいりました。

宝城中学校区からは、小中学校の校長、支援加配の先生、PTA会長、宝城中学校区人権のまちづくりの副会長の計10名が参加して、本校区の現状を踏まえた内容を訴えてまいりました。

小郡市教育委員会からは、小郡市で可能な限り要求の実現を検討していきたいとのこと、また、県の教育委員会へも一緒に要請に伺って、要求内容の実現に向けた取組を協力していただけるとの回答がありましたので、ご報告いたします。